



## 用意するもの



### ミニ・キエーロ



28ℓ容器

### スコップ

中型のスコップ  
もあると便利  
です

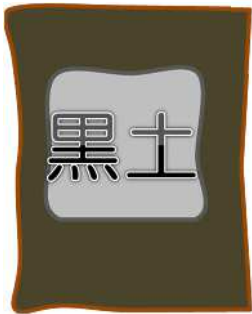


水

### 生ごみ

1回約 500g

3, 4日分を、ふた付  
の容器に入れておきま  
す  
少し傷んだ方が分解し  
やすいですが、取っ  
ておけないものはすぐ  
に入れても大丈夫です



黒土はホームセンター等で  
売っているものでOKです  
※熱処理したものは  
バクテリアがないので×です

黒土の中にもともといるバクテリアが生ご  
みを分解するので何度分解しても土はほとん  
ど増えたり減ったりしないのです



## ミニ・キエーロの使い方

① 陽当たりが良く、  
風の通る場所に置きます

**重要!**



② 20 cmぐらいの穴を  
掘り、生ごみを入れます



③ 生ごみと土を  
よくかき混ぜます

混ぜることで、  
土中のバクテリア  
が活性化し、虫の  
発生防止にも  
なります



④ 土の水分量を  
調節します

お水を入れすぎ  
ると生ごみが  
腐ったり  
虫が発生する  
こともあります



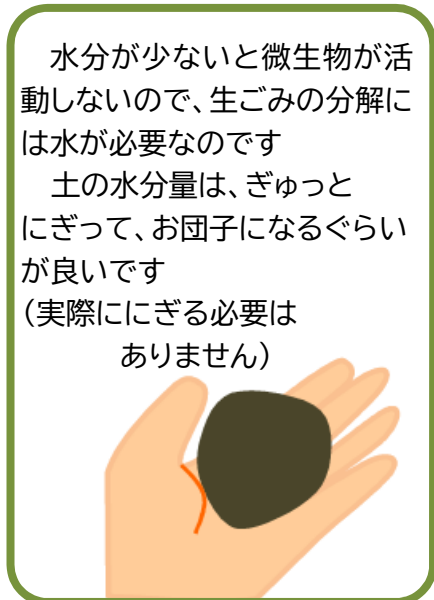
⑤ 上から乾いた土を  
かぶせ、生ごみを完全  
に覆うことで、虫や臭い  
の発生を防ぐことができ  
ます



少量の場合は2か所を交互  
に使います  
目印に旗などを立てると良  
いです



夏は4日ぐらい  
で分解しますが、  
冬は2週間ぐらいかかります



水分が少ないと微生物が活  
動しないので、生ごみの分解に  
は水が必要なのです  
土の水分量は、ぎゅっと  
にぎって、お団子になるぐら  
いが良いです  
(実際ににぎる必要は  
ありません)



## ミニ・キエー口の使い方のコツ



生ごみには、分解しやすいものと分解しにくいもの分解しないものがあります。

人間が食べられるもの、カロリーが高いものや加熱したもの、細かくしたものなど、人間が食べやすいものが分解しやすいです。

しっかり穴を掘り、生ごみと土をよく混ぜ、土をかぶせてフタをするのがコツです。

ミニ・キエー口は自然の力で生ごみを分解するものです。家庭から出るすべてのごみを処理できるわけではありません。

生ごみは土で処理できることを体験していただくためのものです。家庭から出るごみの一部を処理するものとしてご活用ください。



## よく分解するもの、しにくいもの



### ○よく分解するもの

- ・ごはんやパン、麺類
- ・熱を通した肉や魚、野菜
- ・カレー、シチュー、マヨネーズやドレッシング類
- ・ヨーグルトなどの発酵食品
- ・お茶がら、コーヒーかす

### △分解に時間がかかるもの

(※細かく刻むことで分解が早くなります)

- ・生野菜の芯や皮
- ・人参、ごぼうなどの根菜類
- ・レモン・みかんなどの柑橘類の皮
- ・魚の小骨

### ×分解できないもの

- ・玉ねぎの皮、タケノコの皮など水分のない皮
- ・トウモロコシの皮、芯、毛
- ・豆類のさやの筋
- ・桃や梅干しなどの大きめの種
- ・動物の骨、魚の大きな骨
- ・貝殻、卵の殻